


## (4) 錦田地区

### 地区の概況と緑の課題

<p style="text-align: center;">位置図</p> 	<p>ア 地区の概況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大場川沿いの低地に低層住宅地域が分布し、夏梅木地区等に低層住宅団地が形成され、箱根西麓に連なる起伏のある地形を有しています。</li> <li>・ 竹倉湧水や向山古墳群など特徴的な資源があります。</li> <li>・ 国立遺伝学研究所周辺の桜並木は市を代表する緑の景観を形成しています。</li> </ul>
<p>イ 緑の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大場川、夏梅木川などの河川沿いの歩道や公園の整備など、住民等が川と親しめる空間づくりが求められます。</li> <li>・ 特徴的な資源である桜並木や竹倉湧水、里山の自然環境の保全が求められます。</li> <li>・ 向山古墳群を活かし、学習機会の提供やレクリエーション利用への検討が求められます。</li> <li>・ 拠点的な公園や広場が不足することから、公共的なオープンスペース の設置検討が求められます。</li> </ul>	

### 方針

地区の西側を流れる大場川を隔てて中心市街地と接していることから、大場川の河川空間及び周辺の空閑地を活用した、緑の充実、河川へのアクセス向上、富士山への眺望を活かした橋詰公園 の整備等を検討します。

また、夏梅木川の親水護岸化や緑化、歩道の整備・充実を検討し、緑の充実とともに、地区イメージの向上を図ります。

### ア 地区コンセプト

**“ 大場川・夏梅木川のアクセス強化・緑化による地区イメージの向上 ”**

### イ 実現の方向

<p>緑と道のクラスター 軸の形成(旧東海道の活用)</p>	<p>大場川へのアクセス性の向上・橋詰公園整備の検討</p>
<p>緑と水のクラスター軸の形成(大場川、夏梅木川の親水護岸化、歩道整備や緑化の充実)</p>	<p>国立遺伝学研究所周辺の緑の保全 地区東から南の丘陵地の緑の保全 向山古墳群を中心とした公園・緑地の拡充検討</p>

オープンスペース：p.2 参照

橋詰公園：p.22 参照

クラスター：p.15 参照

方針図

